



V S運動で学校はいつもきれい

吉永第2小学校6年 山本安喜子



私達の学校では、V S活動といって、全員で校庭に散らばっているゴミなどを拾い集めて、V Sと書いてあるカンの中に捨てます。どの学年もひとクラスしかない少ない人数ですが、全員がいっしょになって拾い集めるので、V Sをしたあとの校庭

はとてもきれいになっています。

私達の学校は、他の学校と比べてみれば、非常に小さいけれど、学校の行事などは、どの学校に比べても負けないという自信があります。たとえば、全校生徒を「バラ」「しょうぶ」「スミレ」「サクラ」の4つの班に分けて、ほとんどの行事を、その4つの班を中心として、行なっ

ています。月ごとにリレー大会をやったり、誕生会をしたり、合宿訓練や秋の紅白大運動会をやりました。

また、10月25日に学校行事として、秋の遠足があります。その時にもきっと4つの班で行なわれるでしょう

このように、私達の学校は、他の学校に比べて人数は少ないけれど、みんなで仲よく勉強したり遊んだりしています。私達6年生が中心となり、大きな学校にも負けないりっぱな学校にしていきたいと思います。

新刊の作品

吉永中三年
保科恵子

懷古

〔評〕手本に対して忠実に書くための努力をしている作品ですが、まだ全体に少し無理がある様です。しかし、すばらしい作品です。（青木臨川）

伝法小学校

実木
四年
田口滋之

〔評〕字は勢いがあっていいですが、終筆をしっかり書くとなおよくなります。名前と学年が大きすぎて不自然です。（青木臨川）

吉原三中が2年連続で 発明くふう優秀校に

県学生児童発明くふう展で、吉原第3中学校が2年連続して「発明くふう優秀学校賞」を受けました。県発明くふう展は今年で21回目。県下の小中学校から381点の作品が出品され、3中からは30点を出品しました。この結果、2年連続して優秀学校賞を受けたほか2年生の熊谷敏明君が計量スプーンで県知事賞を受けるなど輝しい成績をおさめました。入賞者は次のとおりです。

・県知事賞

熊谷敏明君（2年・計量スプーン）

・県商工部長賞

遠藤寿美さん（2年・改良ピンセット） 漆畠清孝君（3年・フロントタイヤ回転補助器）

・発明協会支部長賞

妻木崇雄君（1年・曲がる文鎮） 吉村和彦君（2年・筆の太さ調節器） 永野多真美さん（2年・改良手さげ） 石原克彦君（3年・円切り器）

なお、熊谷君と遠藤さん、漆畠君の3人の作品は、全国発明くふう展に出品されます。

